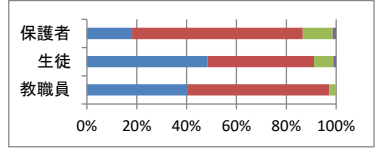
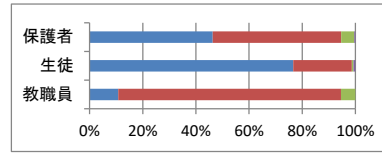
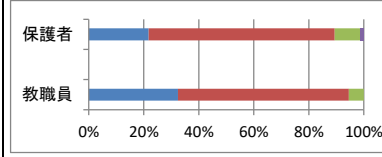


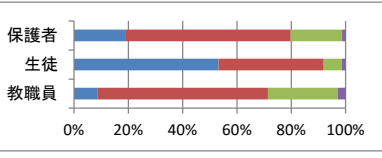
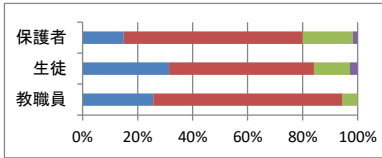
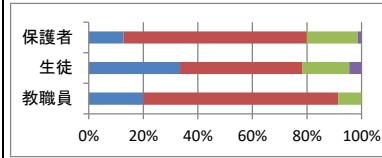
平成30年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

### ①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<h4>1 一人一人の児童生徒の尊重</h4> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p> 	<h4>2 友達への思いやり</h4> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p> 	<h4>3 道徳・心の教育の充実</h4> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）</p> 
<p>1から3の設問はすべて昨年度に比べ「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が大きくなっている。特に1の設問の教職員の「そう思う」の割合は昨年度より30ポイントほど大きくなった。反面、2の設問に対する教職員の「そう思う」の割合が20ポイントほど下がり、生徒と教職員の意識に差が見られる。教職員と生徒の相互理解をより進めていくための取組が必要であると考えます。</p>		

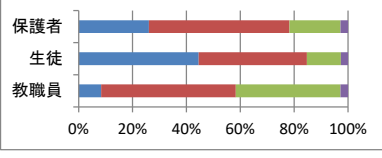
### ②確かな学力を育む教育の推進

<h4>4 意欲的な学習態度</h4> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p> 	<h4>5 授業力向上</h4> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p> 	<h4>6 ICT活用</h4> <p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p> 
<p>設問4では教職員の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が昨年よりも低くなった。結果、生徒と教職員の意識に差が見られる。設問5と6は、昨年度よりも「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が大きくなった。教職員の授業力向上やICT活用の意識の向上がうかがえるので、これが今後生徒の意欲的な学習態度を向上させることにつながるよう取組を継続していきたい。</p>		

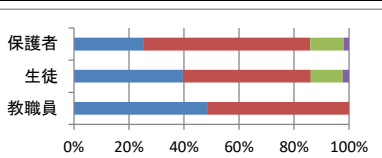
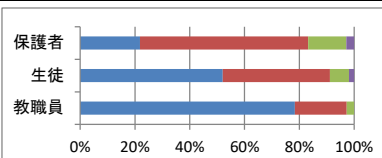
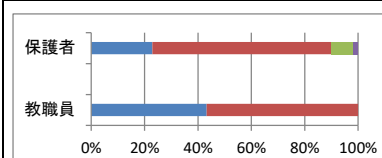
### ③健やかな体を育む教育の推進

#### 7 健康づくり

子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。



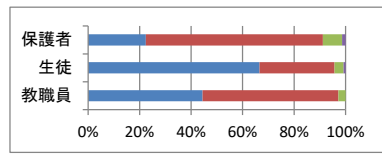
設問7は昨年度よりも教職員の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が低くなった。食育や規則正しい生活の指導に継続して取り組んでいきたい。

<h3 style="text-align: center;">①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実</h3> <h4>8 児童生徒理解</h4> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとして努めていると思いますか。</p> 	<h3 style="text-align: center;">②特別支援教育の推進</h3> <h4>9 いじめや問題への対応</h4> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p> 
<h4>10 学校の支援体制</h4> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p> 	
<p>設問8から9はおおむね昨年度より「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が増えている。全教職員が生徒理解に努め、いじめや問題への対応に誠実に取り組んできたことの現われであると捉えている。今後も、全教職員で連携して、生徒一人一人のよさを認め、励まし、そして伸ばすことに取り組み、いじめの早期発見・対応と改善に努力していきたい。</p>	

### ①子どもたちの身近な安全対策の充実

#### 11 安全と事故防止

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

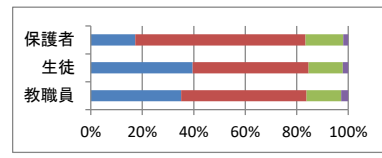


設問11は昨年度に比べ、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合がわずかながら多くなった。今後も安全教育の充実に努めていきたい。

### ②最適な学習環境の整備

#### 12 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

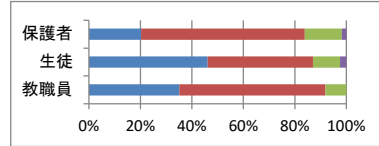


設問12は昨年度に比べ、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合は同じような結果となった。今後も施設・設備の安全管理に努めていきたい。

### ③家庭・地域社会との連携強化

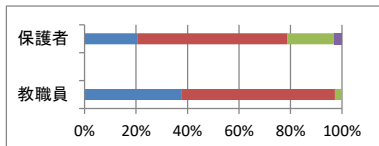
#### 13 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



#### 14 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

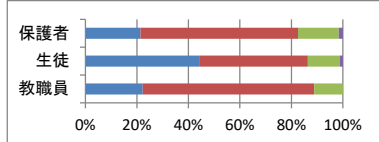


設問13では、保護者と生徒の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が増えている。設問14では、教職員の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が増えている。学校の方針や取組を学校便りや集会などの機会に発信してきた成果が出ていと捉えている。今後も継続して取り組んでいきたい。

### ④本校の教育

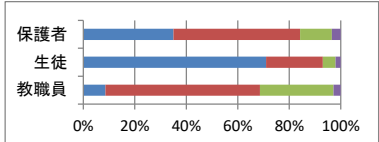
#### 15 キャリア教育の推進

先生方は、教育活動をキャリア教育との関連でとらえ、生徒のキャリア発達を促す取組を進めていると思いますか。



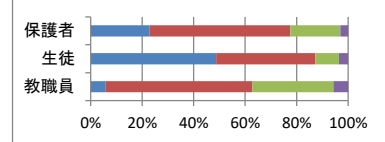
#### 16 家庭学習

生徒は、家庭での学習（あしあと、宿題等）をきちんとやっていると思いますか。



#### 17 勤労精神の育成

生徒は、自分をあきらめず何事も粘り強く取り組んでいると思いますか。



設問15から17はおおむね昨年度と同じような結果となった。設問16と17において、生徒および保護者と教職員の意識に差が見られるので、特に生徒と教職員の相互理解をより推し進めていくことで、さらに教育効果を高めていきたい。

### 来年度の具体的な取り組みについて

- 教育目標・方針については、さらに分かりやすく、学級・学校便り、集会や各種団体との会合などあらゆる機会を通して情報発信を行う。
- 生徒の学習意欲の向上のための授業改善を続けていくとともに、ICTの活用をさらに推進していく。
- 生徒会と連携しながら「あいさつ・そうじ・服装・時間を守る」の基本的な生活習慣指導の徹底を図る。
- 生徒同士、生徒と教職員の信頼関係をより高めるために協同学習を取り入れた授業に全教職員で取り組む。

### 学校関係者評価

- ・学校に来ると、元気で爽やかな挨拶をする生徒が多く、相手の気持ちを考えた行動をとる生徒が増えているように思う。
- ・「いじめ」問題については、誰一人嫌な思いをすることがないように、真剣に取り組んでほしい。
- ・基礎基本定着を図るために、先生全員の力を集結し問題解決を図ってもらいたい。生徒の学力向上を期待している。
- ・生徒一人ひとりの能力に応じた指導を行っていただきたい。特に、わからない生徒への手立てを工夫しながらお願いしたい。